

川島地区

各務原市都市計画マスタープラン改定に伴う

第2回地区別懇談会

令和7年9月 各務原市都市計画課

目次

1. 全体構想振り返り
 - 各務原市都市計画マスタープランとは
 - 都市づくりの理念・目標
 - 将来都市構造・土地利用方針
2. 地区別構想改定案
 - 第1回地区別懇談会 主な意見
 - 主要課題地区の指定
 - 土地利用方針
 - 都市基盤整備方針
3. 意見交換
4. 今後のスケジュール(予定)

1. 全体構想振り返り

都市計画マスタープランとは

都市計画マスタープランとは、今後10年～20年後の市の将来像の実現に向けて、**都市計画の基本方向、土地利用、市街地整備や道路、公園・緑地**などといった都市計画の大きな方針を明らかにするもの

現行の都市計画マスタープランは、

- 1 上位計画である**新たな総合計画**が策定されたこと
- 2 現計画からの社会情勢変化に対応

…などにより新たな計画づくりが必要となり、今回改定します。

都市計画マスタープランの構成

1

現行計画の評価と
各務原市の現状・課題

2

全体構想

- 都市づくりの理念
- 都市づくりの目標
- 将来都市フレーム
- 将来都市構造
- 都市整備の方針

3

地区別構想

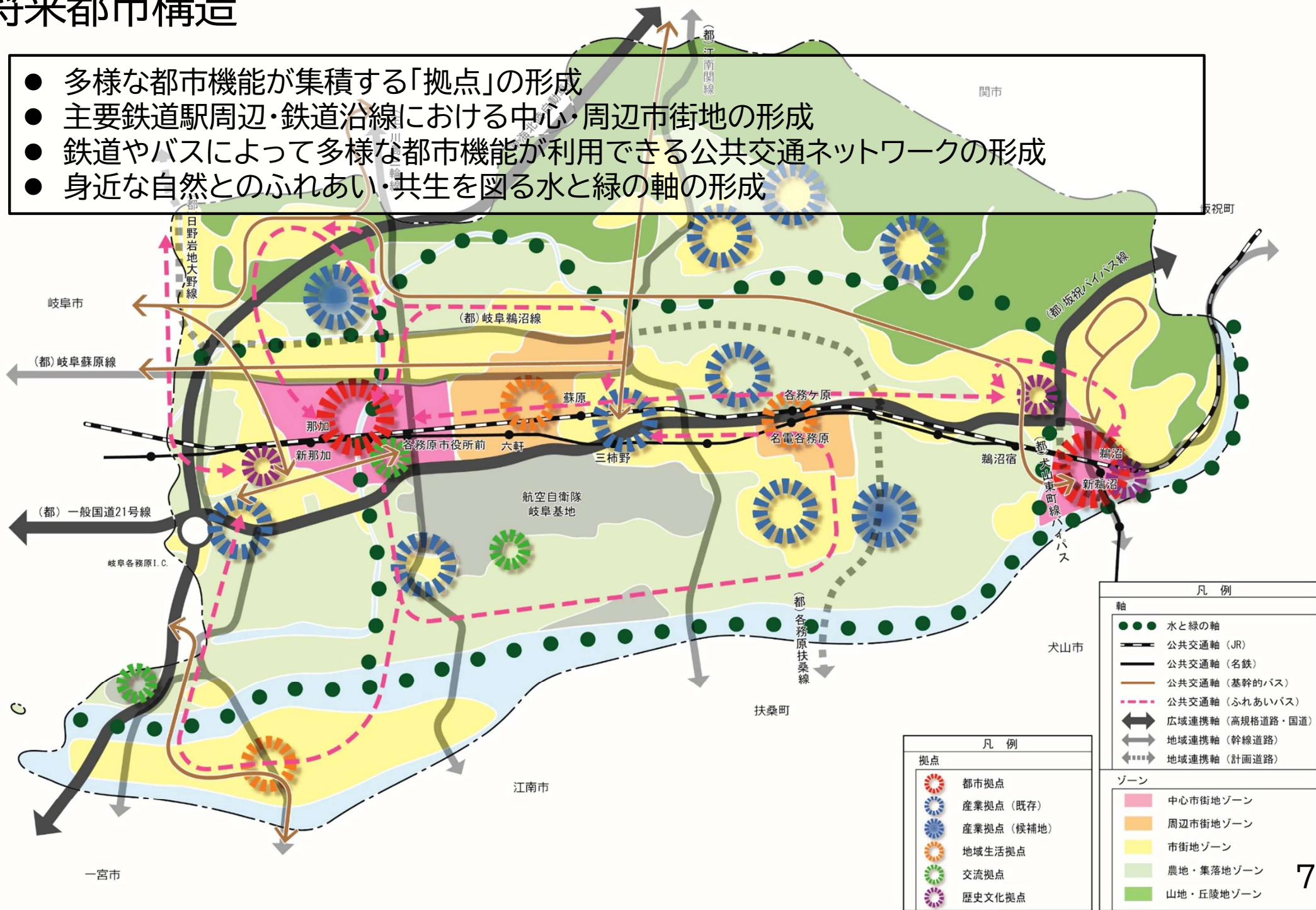
- 那加、稲羽、蘇原、鵜沼、川島の5地区ごとに策定
- 地区別まちづくり方針
(土地利用、道路、市街地整備)等

都市づくりの理念・目標



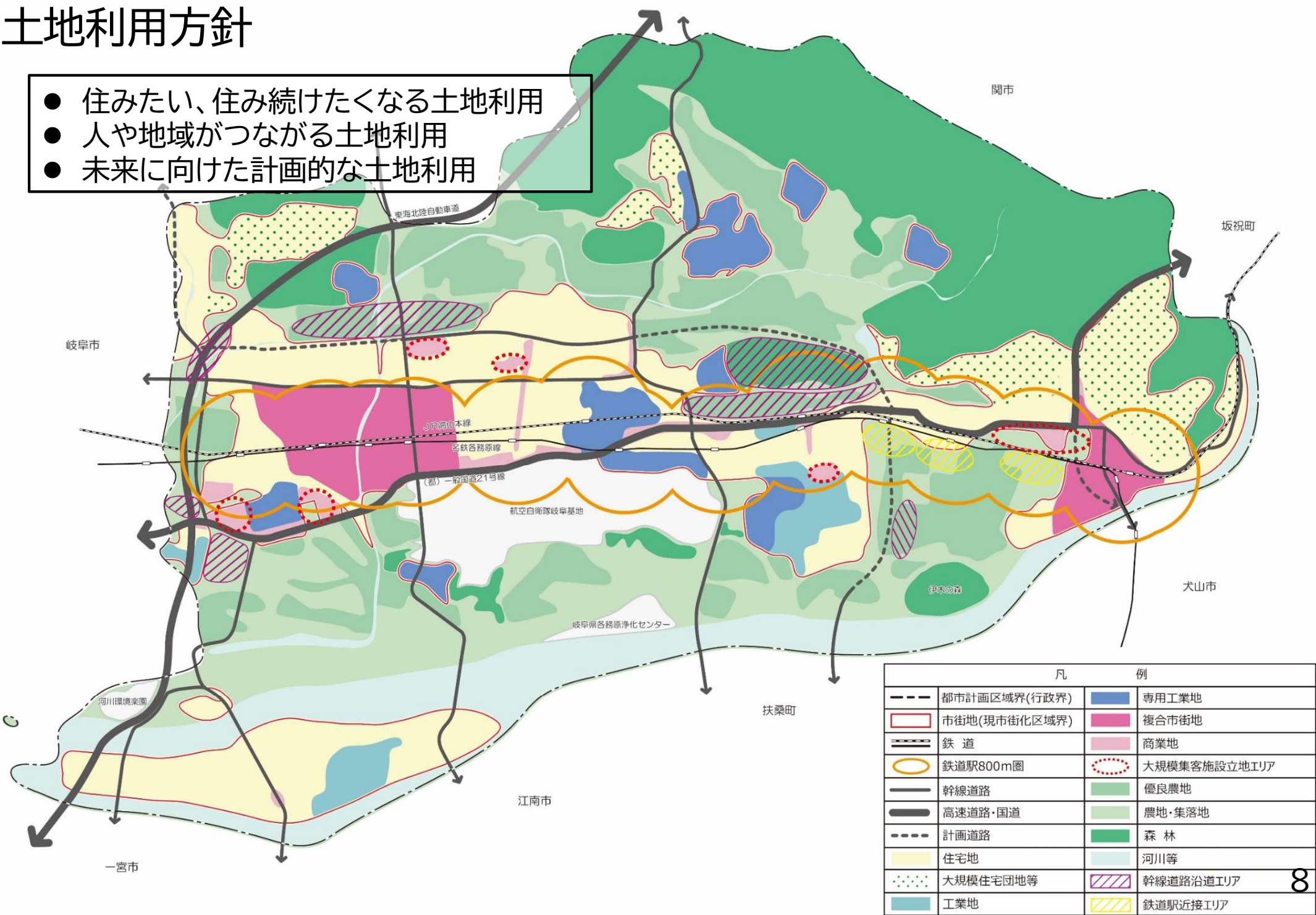
将来都市構造

- 多様な都市機能が集積する「拠点」の形成
- 主要鉄道駅周辺・鉄道沿線における中心・周辺市街地の形成
- 鉄道やバスによって多様な都市機能が利用できる公共交通ネットワークの形成
- 身近な自然とのふれあい・共生を図る水と緑の軸の形成



土地利用方針

- 住みたい、住み続けたいくなる土地利用
- 人や地域がつながる土地利用
- 未来に向けた計画的な土地利用



2. 地区別構想改定案

第1回地区別懇談会でいただいた主なご意見



河川環境楽園等の施設を有効活用し、地域の活性化・地域間の交流を促進してほしい



反映

(1)土地利用(主要課題地区)



地域住民が日常的に利用する店舗等が少ない



反映

(1)土地利用(商業)



渋滞緩和や安全対策の面でも、交通網整備を進めてほしい



反映

(2)都市施設(道路、安全安心)



愛知県(江南市、一宮市)へのアクセスは便利だが、市役所へのアクセスが不便



反映

(2)都市施設(公共交通)



新しい住宅の開発が進んでおり、治水対策の強化をしてほしい



反映

(2)都市施設
(下水道(雨水)、河川)

地区別まちづくり方針

<現計画>

水と緑に包まれ、安全・安心な
全島交流ゾーンの形成

本地区は、交通インフラの整備や水と緑に恵まれた河川環境楽園等の整備により、多くの観光客が訪れている。

今後もこれらの施設等の有効活用を図るとともに、ごんぼ積み集落周辺地区における当該地区の魅力を発信するまちづくり等により、

更なる交流・賑わいを創出するとともに、防災や交通安全対策の推進により安全で安心な生活環境を創出することを目標とする。



<次期計画>

水と緑に包まれた、安全・安心な
魅力ある広域交流ゾーンの形成

本地区は、交通インフラの整備や水と緑に恵まれた河川環境楽園等の整備により、多くの人々が訪れている。

今後もこれらの施設等の有効活用を図るとともに、水辺を身近に感じられる魅力ある居住区域に多様な世代を誘導し、

更なる交流・賑わいを創出するとともに、治水対策や交通安全対策の推進により安全で安心な生活環境を創出することを目標とする。

地区別構想 章構成

(1) 土地利用

土地利用方針

(2) 都市施設

- 道路
- 公共交通
- 公園・緑地
- 下水道
- 河川

(3) 市街地整備

都市基盤整備方針

(4) 関連分野

- 景観、歴史・文化
- 安全安心

地区別構想 章構成

(1) 土地利用

土地利用方針

(2) 都市施設

- 道路
- 公共交通
- 公園・緑地
- 下水道
- 河川

(3) 市街地整備

都市基盤整備方針

(4) 関連分野

- 景観、歴史・文化
- 安全安心

(1) 土地利用方針

主要課題地区の土地利用方針

1 川島松原町地区

- 宅地利用が困難となっている都市的未利用地において、組合施行の土地区画整理事業により、良好な市街地の形成を促進する

2 国営木曽三川公園各務原緑地

反映

- 木曽川沿いのサイクリングネットワークが整備され、拠点となる木曽川前渡南公園(KakamigaharaわたしのPARK)がオープンし、多くの利用者が訪れている
- これら地域資源を活かした流域の魅力向上を目指し、各務原アウトドアフィールドの整備促進や木曽川を基軸とした広域サイクリングネットワークの構築による賑わいのある拠点形成を図る

現状と課題

住居

- 比較的低密度な市街地が形成されている
- 川島地区は過去から繊維業関連が盛んであり、一部の市街化区域において「特別工業地区」を定め、住工混在を一定の範囲で許容

商業

- 本地区のほぼ中央を南北方向に通る県道松原芋島線沿道は、店舗や事務所等が立地している状況にある

工業

- 本地区の基幹産業である大規模工場が立地し、工場内の豊かな緑と博物館の存在により、該当地域は地区の大きな個性をともなっており、近年は大型の物流倉庫も建設された



方針

住居

- 歴史性と緑を保全活用しながら、良好な住環境の維持・形成を図る

商業

- 地区住民の生活便利性の向上に資する沿道活用地域としての土地利用を促進

工業

- 今後も地域と調和がとれた工業地域としての土地利用を図る

反映

現状と課題

集落地

- 笠田地区においては、一部宅地開発が**スプロール的に進行**
- ソフト面での対策を含め、水害に対する**安全性の向上**を図るとともに、**適切な土地利用の規制・誘導**が課題

農地等

- 川島地区を取り囲む木曽川は、多様な生物の生息地となり、癒しの空間になるなど、都市の骨格を形成

方針

集落地

- 笠田地区の市街化調整区域においては、**防災対策の強化**を図りつつ、農地転用許可及び**開発許可制度を適切に運用**し、無秩序な土地利用が進まないように努める

農地等

- 今後も引き続き、緑の基本計画を受け、市の骨格となる良好な**水辺環境の保全**を図る
- また、国営木曽三川公園各務原緑地については、公園整備とともに**緑地環境の保全**を図る

地区別構想 章構成

(1) 土地利用

土地利用方針

(2) 都市施設

- 道路
- 公共交通
- 公園・緑地
- 下水道
- 河川

(3) 市街地整備

(4) 関連分野

- 景観、歴史・文化
- 安全安心

都市基盤整備方針

(2) 都市施設

道路

現状と課題

幹線・補助幹線道路	- 各務原大橋の完成により、木曽川の増水時でも旧各務原市側との通行が確保され、利便性の向上のみならず、防災安全面での効果も確保された - 地区内外のアクセス性の向上と交通混雑の改善を目指す必要がある
歩道等	主要な幹線道路において順次整備を進めているが、歩道の連続性が確保されていない箇所がある

方針

反映

幹線・補助幹線道路	稲羽地区との連絡を強化できるよう(主)川島三輪線の延伸を検討(中長期)
歩道等	歩行者等のネットワーク形成を図るため、川1号線等の整備推進(短期)

(2) 都市施設

公共交通

現状と課題

- 川島地区は鉄道駅がなく、主にふれあいバスやチョイソコかわしまといった公共交通が生活路線として運行している
- 市内中心部や周辺市への移動は自動車利用が中心である

方針

反映

- ふれあいバスやチョイソコの利便性を高め、鉄道駅や公共施設との連携強化を検討
- チョイソコかわしま等のバス路線の評価・検証を行い、必要に応じ運行内容(経路・ダイヤ)の見直しを実施し、利便性の向上を図ることで、運転が困難な世代の移動手段の確保に努める

(2) 都市施設

公園・緑地

現状と課題

- 緑の基本計画に基づき、計画的に公園整備を行ったことにより、地区内における公園整備は概ね完了
- 河跡湖公園や国営木曽三川公園各務原緑地内に河川環境楽園が立地しており、河川環境楽園では年間約450万人(令和6年実績)が訪れ、賑わいをみせている

方針

反映

- 今後、各務原アウトドアフィールドの整備を促進するほか、計画的に公園施設の改築・更新を検討
- 地域資源を活かした流域の魅力向上を目指し、賑わいのある拠点形成を図る



河跡湖公園



河川環境楽園

(2) 都市施設

下水道(污水・雨水)

現状と課題

- | | |
|----|---|
| 汚水 | <ul style="list-style-type: none">汚水整備は概ね完了今後も適切な維持管理・延命化を図る必要がある |
| 雨水 | <ul style="list-style-type: none">川島地区の一部では整備済みであるものの、未整備の雨水幹線・樋管が存在短時間集中豪雨(ゲリラ豪雨)時の浸水被害が発生 → 整備を推進する必要がある |

方針

反映

- | | |
|----|---|
| 汚水 | <ul style="list-style-type: none">経年劣化により老朽化した施設について、適切な維持管理を実施するとともに、長寿命化計画に基づく更生工法等による延命化や、地震対策計画に基づく耐震化を図る |
| 雨水 | <ul style="list-style-type: none">今後さらに市街化が進み保水・遊水機能を有する農地の減少、都市構造の変化等から洪水流出量の増大が予測されることも踏まえ、市街化に合わせた雨水対策を検討 |

(2) 都市施設

河川

現状と課題

- 木曽川に囲まれた河川環境を有し、自然景観や水辺空間が豊かな資源となっている
- 集中豪雨や台風時の浸水リスクが高く、堤防や排水施設による治水対策を講じる必要がある

方針

反映

- 木曽川の治水機能を確保しつつ、河川敷や水辺空間の保全・活用を進め、安全で潤いある地域環境を形成
- 国及び関係機関と連携し、木曽川の堤防整備を促進

(3) 市街地整備

土地利用の促進や有効活用

現状と課題

- 川島緑町や川島小網町等において土地区画整理事業により市街地整備が進んでいる
- 道路は狭あい或不整形な部分が多く、市街化区域内には都市的未利用地が残されている

方針

- 生活道路の整備や治水対策の促進により、安全で快適な住環境の形成を図る
- 川島松原町において新たに土地区画整理事業を推進し、市街化区域内の未利用地の有効活用を図る

(4) 関連分野

景観、歴史・文化

現状と課題

- **河跡湖**は、かつて木曽川の派流であった特異な環境資源を持つと同時にその周辺には**豊かな緑地**が残り、市街地における**貴重な自然資源**がある
- 製薬製造工場及びその周辺は、川島地区の市街地にあって、ひととき**大きな緑のまとまりがある地区**であり、また工場沿いの松並木は勇壮な景観を創出
- **ごんぼ積み集落**周辺では、水害対策として、玉石積みを家屋の基礎とした建物が建ち並んでおり、またこの石積みに挟まれるように小路が竹林や社寺を結ぶという、**川中島特有の景観**を創出
- 市内に架かる**橋周辺の地区**は、木曽川の自然景観に配慮しつつ、本市の**玄関口にふさわしい景観形成**を図る必要がある

<重点風景地区>

ごんぼ積み地区、河跡湖公園地区、エーザイ川島工園地区、木曽川沿い地区、木曽川に架かる橋周辺地区

方針

- 木曽川の自然景観に配慮しつつ、木曽川の水辺文化や歴史資源を**保全・活用**し、地域の魅力を高めるとともに、観光や交流に結び付け、本市の玄関口にふさわしい**景観形成**を図る



ごんぼ積み

(4) 関連分野

安全安心

現状と課題

防災

- ・ 防災面では、地区全域が浸水想定区域(L1・L2)に指定されている
- ・ 想定最大規模が浸水深3.0m以上、全域が木曽川の氾濫流や河岸浸食を想定した家屋倒壊等氾濫想定区域に指定

交通安全 ・防犯

- ・ 防犯灯LED化等の安全対策を実施
- ・ 震災時や火災時に避難活動や消火活動に支障をきたす恐れがある狭あいな道路を基盤として形成された市街地や集落が多く見られる

方針

反映

防災

- ・ 避難場所・避難経路の確保や地域防災力の強化及びハザードマップによる情報発信等地域の実情に応じた防災対策を推進

交通安全 ・防犯

- ・ 狭あい道路の解消やそれにあわせたブロック塀の除去の支援等に努める

意見交換

土地利用・都市基盤整備方針図<次期計画>



意見交換の視点

川島地区の土地利用方針について
川島地区の都市基盤整備方針について



まちづくり方針を実現するために、これからの土地利用、都市基盤整備の方針に対して、気になったことや改善した方がよいことなど、ご意見をお願いします。

今後のスケジュール(予定)

